



関東徳高会 No.9

敬愛
向学
共生

発行所：〒331-0804 さいたま市北区土呂町2-12-20-202 医院企画内 発行人：関東徳高会会長 松山 哲則

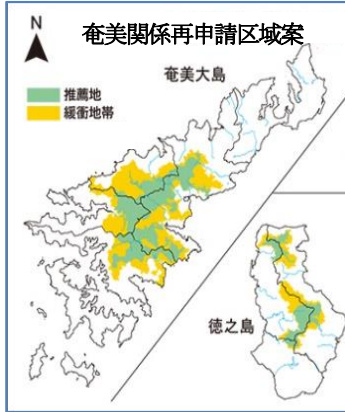
【ふるさと関連便り】 (写真：南海日々・奄美新聞他)

○環境省：世界自然遺産登録を延期 H30.5.4

ユネスコの諮問機関・国際自然保護連合(IUCN)が登録を延期するよう勧告・受諾したもの。登録に必要な「3条件」のうち①遺産価値②保護管理は「適合」した。

③区域設定については、沖縄北部やんばる地区を例に「遺産区域の連続性」に難ありと指摘がされた。

区域設定等の見直しと地域社会の積極的関与を重要とする「地域参加型管理」を追記し再申請。



○猛烈な台風24号被害甚大に！ H30.9.29～30

最大瞬間風速50m/sを超す猛烈な台風24号の直撃で、徳之島では建造物や農林水産業分野の被害が深刻化。生活関連でも29日以降、一部の復旧地域を除き停電が長期化し上水道のポンプが停止して天城町・伊仙町で断水・時間給水状態が長引いた。



○徳之島町町制施行60周年記念祝賀 H30.10.20

1958(昭和33)年4月、当時の亀津町と東天城村の対等合併で誕生し60周年を迎えた。式典では金子万寿夫衆議院議員や三反園訓知事の祝辞並びに功労者表彰を町文化会館で挙行了した。



二部の祝賀会は町体育センターで行われた。

○東天城中学校創立60周年記念祝賀 H30.10.28

創立祝賀を開催。同校は旧東天城村と亀津町が合併し徳之島町制に移行した1958(S33)年4月、花徳中と母間中の統合で創立。卒業生約3,800人。現在の生徒数38人。

○兼久小学校創立120周年記念祝賀 H30.11.4

同校は大正30年5月2日に兼久尋常小として創立。旧三和小との統合・分離など変遷を経てS33年、現在地に新設。卒業生約6,000人。現在の生徒数54人。

○陸自警備部隊奄美大島駐屯地開設 H31.3.36

防衛省は奄美大島と沖縄県・宮古島に新たな駐屯地や分屯地を開設した。岩屋毅防衛相は日本の守りの最前線は南西地域だ。ここは1200キロの幅がある。この地域の防衛・抑止力をしっかり構築していきたいとした。奄美駐屯地面積:50.5ヘクタール 瀬戸内分屯地は48.3ヘクタール



【会務報告】 H30年4月1日～H31年3月末迄

- H30.04.08：関東亀津会総会 勝会長出席
- H30.04.15：関東大島工業高総会 勝会長出席
- H30.04.28：総会案内送付 事務局(土呂)
- H30.05.19：関東徳高会役員会 五反田「塩梅」
- H30.05.26：立石校長歓迎会 「小田急さがみ」
- H30.05.27：平成30年 総会・懇親会「きゅりあん」
- H30.06.17：関東伊仙町会総会 松山会長出席
- H30.08.05：関東前田ヶ丘会総会 松山会長出席
- H30.08.26：関東徳之島町会総会 松山会長出席
- H30.09.24：関東天城町会総会 松山会長出席
- H31.03.30：関東徳高会役員会 上野「魚民」

【会計報告】

報告期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

収入(円)		支出(円)	
前期繰越金	449,827	総会・懇親会費	343,269
総会会費	358,000	役員会議費	39,500
総会寄付金	119,000	通信・消耗品費	169,721
来賓祝儀	115,000	郷友会祝儀祝電	96,814
運営協力金	173,278	交通費	4,820
本部支援金	0	雑費	75,352
役員会余剰金	6,705	(小計)	729,476
利息他 雑収	0	次期繰越金	492,334
収入合計	1,221,810	支出合計	1,221,810

上記の通り仮報告いたします。正式には会計監査を経て総会にてご報告いたします。

関東徳高会会長 松山 哲則 印 省略

○立石校長・福田蔵越会幹事長歓迎会 H30.5.26

2018年4月より徳高に赴任の立石賢二校長が27日の総会に参加する為、蔵越会本部の福田哲也幹事長と上京されたので、役員有志は新宿の(小田急さがみ)で歓迎会の場を持ち母校の教育事情等交流を図った。



前列左から福田幹事長・立石校長

【あとがき】

令和の元号を受け安寧と発展を期待したいのですが米中、日韓、ホルムズ海峡、ブレグジット等 国際情勢は激動していくばかりです。わが南西諸島の防衛は日本の守りの最前線だと陸上自衛隊の駐屯地が開設されました。重大な危機の始まりにならない様に祈ります。昨年から母校のウェブサイトが特に充実し、少子化の中、文武両道の成果や教育活動の取り組みが覗けるのは頼もしい喜びです。校長先生はじめ教職員の取り組みに感謝致します。(文責：喜多)

ご挨拶

関東徳高会会長 松山 哲則
第27期生



会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

昨年の総会で会長に選出されました松山哲則と申します。

徳之島高校を卒業後、42年の月日が経ちました。島を離れて千葉～熊本～東京～神奈川～埼玉～千葉と10回転居の末ようやく落ち着いたところです。20代～30代の頃は同窓会へ参加する機会がありませんでしたが、縁あって、平成6～10年、平成28～30年に幹事長を経験させていただきました。

母校は創立60年を経て、徳之島農業高校との統合から創立12年の歴史を刻んでおります。また空手道部は昨年、全国選抜大会の連続出場30年を達成して表彰を受け、美術部は、第67回県高校美術展特別賞の受賞(全国大会出場)など、各分野での文武両道の活躍ぶりは、島を離れて暮らす同窓会員の誇りでもあります。

同窓会は、会員相互の親睦、母校の発展への寄与が、テーマです。参加会員の高齢化、若い世代の参加者低迷など、課題もありますが、一人でも多くの同窓会員の参加で、世代を超えた会員の親睦の和が広がることを願っております。

これからも同窓会のさらなる盛会、継続を祈り、役員一同、力を合わせる所存です。

会員の皆様のご協力、ご鞭撻をお願い申し上げます。

【編集者メモ】

- ・昭和52年 徳高 第27回卒業
- ・徳之島町 亀津出身
- ・(株)医院企画：代表、一級建築士
- ・徳之島郷土研究会会員

ご挨拶

関東徳高会第10代 会長 林 正憲
第14期生



関東徳高会会員の皆様、お元気でしょうか。

私は徳之島高校を卒業して上京し大学を卒業した後、関東で9年間

サラリーマンをしていましたが31歳で独立しました。現在は埼玉県で調剤薬局と訪問看護リハビリステーションをしている会社を経営しております。

私も徳之島を離れて55年が過ぎてしまいました。今年から後期高齢者です。3年ぐらい前までは徳高の卒業生が関東地区に進学、就職した時に私の個人的な計らいで後輩たちのために軽井沢の別荘で一泊二日の激励会を行なっていましたが、最近になって新設高校(徳之島農業高校と合併)の新卒生が参加しなくなり大変残念でなりません。

つい最近になって関東徳高会は、新設高校(結心会)の卒業生の皆さんも参加するようになり、和気あいあいと年1回の同窓会を楽しんでいます。後輩の皆さんにとっては、またとない先輩、後輩の絆のできる場だと思います。参加することで社会人として一所懸命に頑張っている同級生や、または悩んでいる仲間を見ることがでしょう。語ることによって、新たな力を得たり励まし合ったり貴重な発想が得られるのも同窓会です。先輩の方々には関東にきて、大変成功をしている方々が沢山います。成功はひらめき一つで叶えられるものではありません。又「ひとつのことにとらわれることはない、道はいくつもある」と考えます。成功に至った苦勞談や秘話を聞けるのも、一生涯にわたり楽しいお付き合いができるのも同窓会の大きな役割だと思います。皆さんで楽しく有効に活用しましょう。

是非大勢の後輩の皆さんが同窓会に参加され、活躍されることを期待します。

【編集者メモ】

- ・昭和39年 徳高 第14回卒業
- ・伊仙町 犬田布出身
- ・コスモプラス(株)(調剤薬局/訪問看護リハビリ)：会長
- ・大宮中央ロータリークラブ会員

○総会は新任校長迎え盛大に開催！ H30.5.27

平成30年度の関東徳高会総会ならびに懇親会は5月27日(日曜日)12時から大井町駅前の品川区立総合区民会館「きゅりあん」にて97名の参加のもと開催された。

【第一部】は関東徳高会恒例の講演会で筑波大学連携大学院教授の河地正伸さん(32回卒・S57年卒)が「徳之島から世界へはばたく 藻類研究の魅力」と題して講演。「少年時代に母間集落で過ごし生き物に興味を持った」「南極の昭和基地などの厳しい環境で生きている藻の研究にも取り組んだ」「世界五指に入る日仏共同のカルチャーコレクション(微生物株保存機関)でも研究している」などを紹介した。「微細藻類の研究は大量培養により化石燃料に代わる環境にやさしいバイオマス発電などが期待でき、これからも研究を通じて未来を求めると講演を終えた。

河地さんのプロフィール

- ・1964年西阿木生まれ
- ・幼稚園～中一：母間
- ・中二から与論島へ
- ・徳之島高等学校卒業
- ・筑波大学生物学類卒
- ・1994年理学博士取得
- ・筑波大学大学院教授
- ・国立環境研究所



【第二部】総会は松山哲則幹事長が司会進行し、遠藤美枝子前会長が開会。郷土謡・校歌斉唱と続き、勝光重会長が任期中のご協力に感謝の挨拶。立石賢二校長は新任の報告。少子化に伴う生徒募集難の見通しや視野を広げて果敢に挑戦する気概の醸成などに努めると挨拶した。

宮原たつ子副会長を議長に選出して松山哲則幹事長の会務、栄信宏会計長より会計、矢島和義監査役が監査報告をして承認された。役員改選年度の為、会長希望者を募ったあと、役員選考委員長の岡村隆文さんから松山哲則さんの会長推薦があり満場一致で承認された。

二部の総会の閉めは、城戸あい子副会長が行った。



勝会長 立石校長 宮原さん 栄さん 矢島さん

【第三部】懇親会の司会は利成彦、城戸あい子さんが担当。西原睦央相談役による乾杯で懇親会がスタート。松林純子徳州会々長、横田捷宏徳之島「夢」振興会議理事長はじめご来賓からご挨拶を頂戴し、余興に移る。余興では前田旭さんの空手演技でオープン。小坂京子さんのマジックや天城町女性部の踊り、さらに芸達者な

会員の飛び入りにより楽しく演出された。威勢の良いエイサー隊の踊りで絶好調に！ 参加者全員による花の徳之島・ワイド節・六調でフィナーレ。

牧秋雄さんが会員の健勝を誓い三部を閉めた。



* 懇親会を盛り上げた幹事とお言葉を戴いたご来賓



* 女人肌の演出は輝き、参加者の心は島の絆で満たされた

○関東徳高会歴代会長・幹事長一覧

創立して半世紀。これまで脈々と会の発展と継続にご尽力された会長・幹事長名を一覧としました。(S.K)

西暦	和暦・年月	総会回数	歴代	会長(卒年)	幹事長
1970~1972	S45.~S47.11	1~3	1	米田 実 (S26)	麓 高明
1972~1975	S47.11~S50.5	4~6	2	牧山 二郎(S27)	寿 洋一郎
1975~1978	S50.5~S52.5	7~8	3	麓 高明 (S28)	寿 洋一郎
1978~1980	S52.5~S55.6	9~11	4	松林 清雄(S30)	福田 毅雄
1980~1982	S55.6~S57.6	12~13	5	米倉 文吉(S27)	正野 建樹
1982~1985	S57.6~S60.6	14~16	6	寿 洋一郎(S38)	澤田 英樹
1985~1988	S60.6~S63.6	17~19	7	古勝 昭男(S34)	石原 輝久
1988~1990	S63.6~H3.7	20~22	8	西原 睦央(S32)	石原 輝久
1990~1994	H3.7~H6.6	23~25	9	盛永 勝也(S32)	矢島 和義
1994~1998	H6.6~H10.6	26~29	10	林 正憲 (S39)	松山 哲則
1998~2002	H10.6~H14.6	30~33	11	松林 清雄(S30)	栄 信宏
2002~2004	H14.6~H16.6	34~35	12	土岐 邦成(S35)	山野 浩樹
2004~2006	H16.6~H18.6	36~37	13	豊 正行 (S34)	岡村 隆文
2006~2008	H18.6~H20.6	38~39	14	福田 毅雄(S38)	泉 延吉
2008~2010	H20.6~H22.6	40~41①	15	岡村 隆文(S41)	遠藤美枝子
2010~2012	H22.6~H24.6	42~43③	16	豊 正弘 (S41)	喜多 正吉
2012~2014	H24.6~H26.5	44~45⑤	17	喜多 正吉(S41)	澤田 英樹
2014~2016	H26.5~H28.6	46~47⑦	18	遠藤美枝子(S41)	勝 光重
2016~2018	H28.6~H30.5	48~49⑨	19	勝 光重 (S44)	松山 哲則
2018~2020	H30.5~	50~	20	松山 哲則(S52)	牧 秋雄

○内の数字は関東徳高会・関東緑友会・新設徳高卒業生による同窓会統合後の回数

【母校・同窓会本部便り】

○平成30年度卒業式・平成31年度入学式

平成31年3月1日、第11回卒業式が行われた。卒業91名、進路は大学：国公立11、私立24、大学校1、短大：公立1、私立5、各種専修学校41、就職10。(重複有) 第14回の入学生は84名。今年から普通科を1クラス減として募集。普通科2クラス80名、総合学科40名で募集。



○文武両道～夢の実現～ 実績の一部を紹介

「文武両道」を旗印として師弟同行で日々邁進し、生徒達は近年稀に見る成果を上げている。

- ・国公立大学合格11名(昨年5名)
- ・S30年9月県高校英語弁論大会：幸山千尋さん最優秀賞
- ・英検準一級合格者2名 前田真京さん、安芽里香さん
- ・県高校美術展ワンツー独占 徳田聖花作：fragile 高校美術展大賞：徳田聖花、準大賞：赤崎祐斗 高美展連盟大賞：福詩衣菜さん他に入賞者が4人。
- ・空手部30年連続全国出場達成。次回も出場確定。



徳田聖花作：fragile

○徳之島町GCFふるさと納税 目標達成！

徳之島町では、徳高が抱える教育課題の支援策として「島ぬ宝ふるさと納税」GCFを活用。目標金額の100万円を超えるご寄附(108万円:66件)を戴いた。テニス部が遠征費捻出に栽培していたジャガイモと徳高オリジナルの豚みそ缶詰を返礼品とした。



返礼品を準備する生徒たち

○新設徳高同窓会登録募集

結心会では徳高のウェブサイトでは徳高、徳農高、新設徳高の会員情報の登録依頼を掲載中です。



【会員便り】 同期会などの会員便り投稿お待ちしております

○岡前小・北中学校校区全国同窓会 H30.10.27

天城町立岡前小学校・北中学校同校会はJR鹿児島中央駅から歩5分程の鹿児島 東急REIホテルで全国同窓会を開催した。第7回総会に全国から約150名が参加した。同校会を全国規模で開催は貴重。



○東天城中第5回関東地区同窓会 H30.11.3

東天城中学校関東地区同窓会が横浜駅近くのホテル「横浜キャメロットジャパン」で「特別授業」と題して恩師の丸田卯禮男先生を招いて開いた。今回は母校の創立60周年も祝い開催。5年ごとに開催され180名が参加した。



○亀津中26回卒還暦全国同窓会 H30.11.16~18

亀津中卒33会(1974年卒)は[舞浜ユーラシア]に集う。65名が参加し[はとバス]・[水上バス]で東京を堪能し互いの健康と還暦を祝した。



○関東徳高会創立への先駆け～思い出の写真

大河平先生を迎えた昭和43年ごろの写真です。亀津高等女学校、亀津実業高等学校を経て、昭和24年徳之島高等学校と称し創立。昭和44年11月2日には20周年祝賀を挙げています。写真は、恩師の上京や同校会の結成、同校会寄贈のプール建設(S46.3竣工)の話題があり、関東同窓会の先駆け・夜明けの1枚と思われる。昭和45年3月8日には関東徳高会結成の趣意書が発行されている。(右から5人目が先生:亀津出身)

